

速効キチン肥料 植生試験

夏場のネギ栽培

<試験期間> 令和2年7月27日～9月18日

播種7月18日頃

収穫9月18日

<試験方法>

1) 供試植物 ネギ

2) 試験場所 生産者圃場

3) 試験面積 試験箇所: 約6m² × 2か所

4) 散布方法 噴霧器で月2回散布

5) 施用量 500倍液を1試験区(6m²程度)へ約0.8L散布

6) 散布 7/27 8/7 8/21 9/4 計4回

7) 収穫方法 通路側から3列目・4列目を70cmずつ収穫

対照区として、散布区の通路を挟んで向かい側を同様に収穫

<試験区>

無散布区

速効キチン肥料散布区(試験区)



R2.7.27(散布1回目)



R2.8.7(散布2回目)



R2.8.21(散布3回目)



R2.9.4(散布4回目)

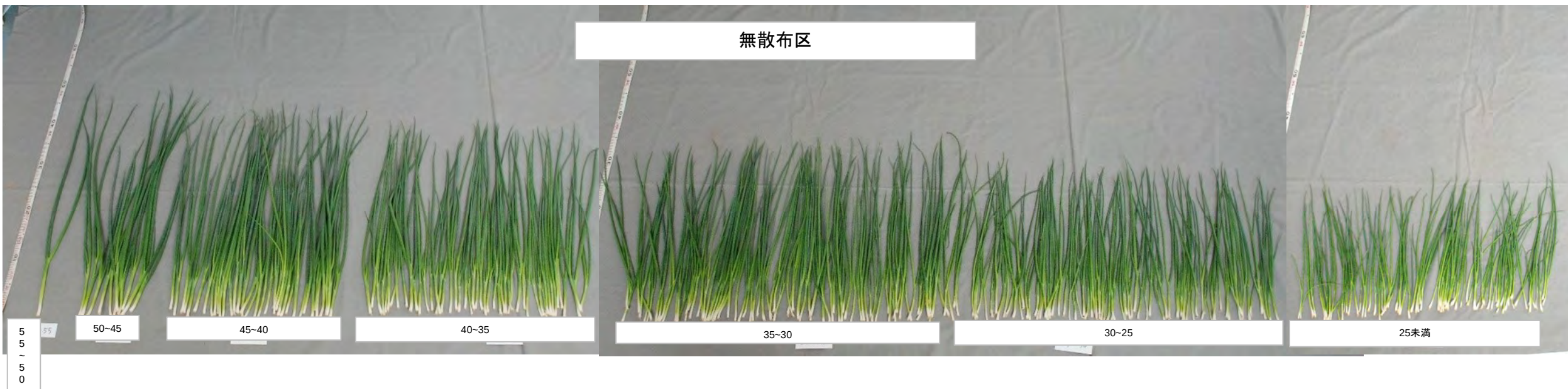


<収量調査R2.9.18>

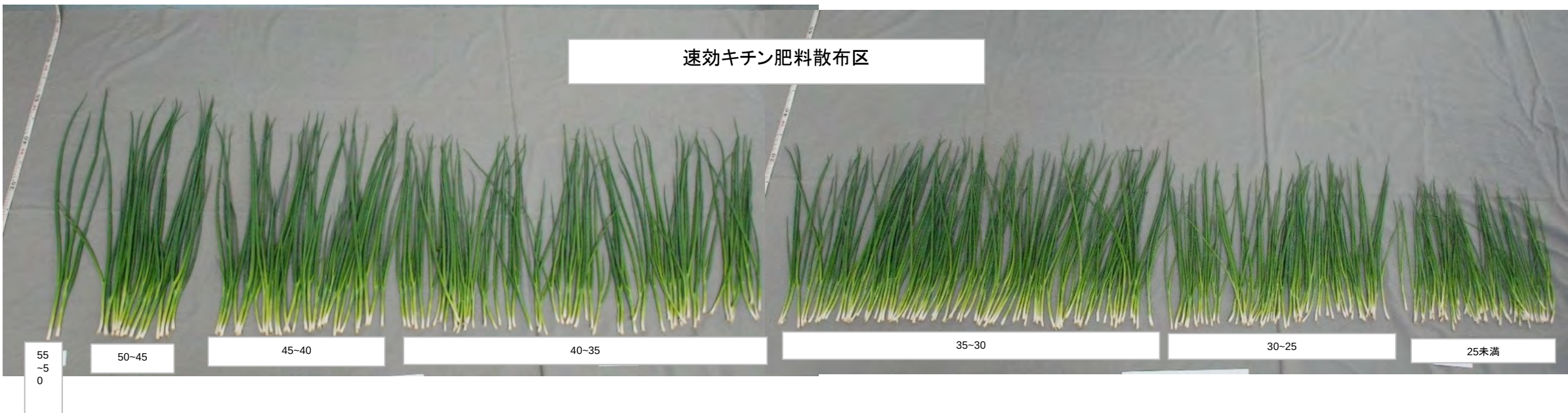
無散布区:336本/549.1g

速効キチン肥料散布区:304本/552.4g

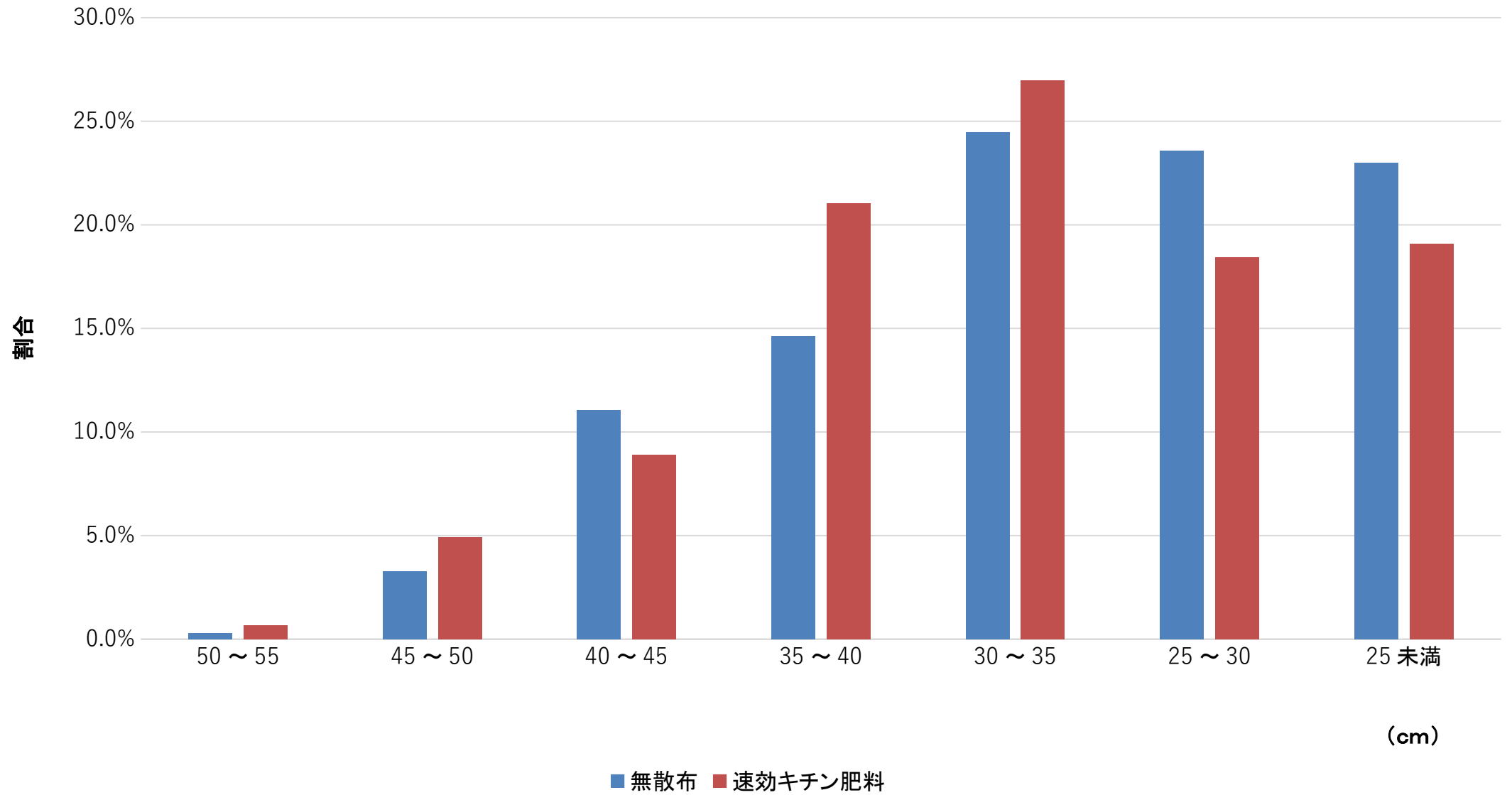
無散布区



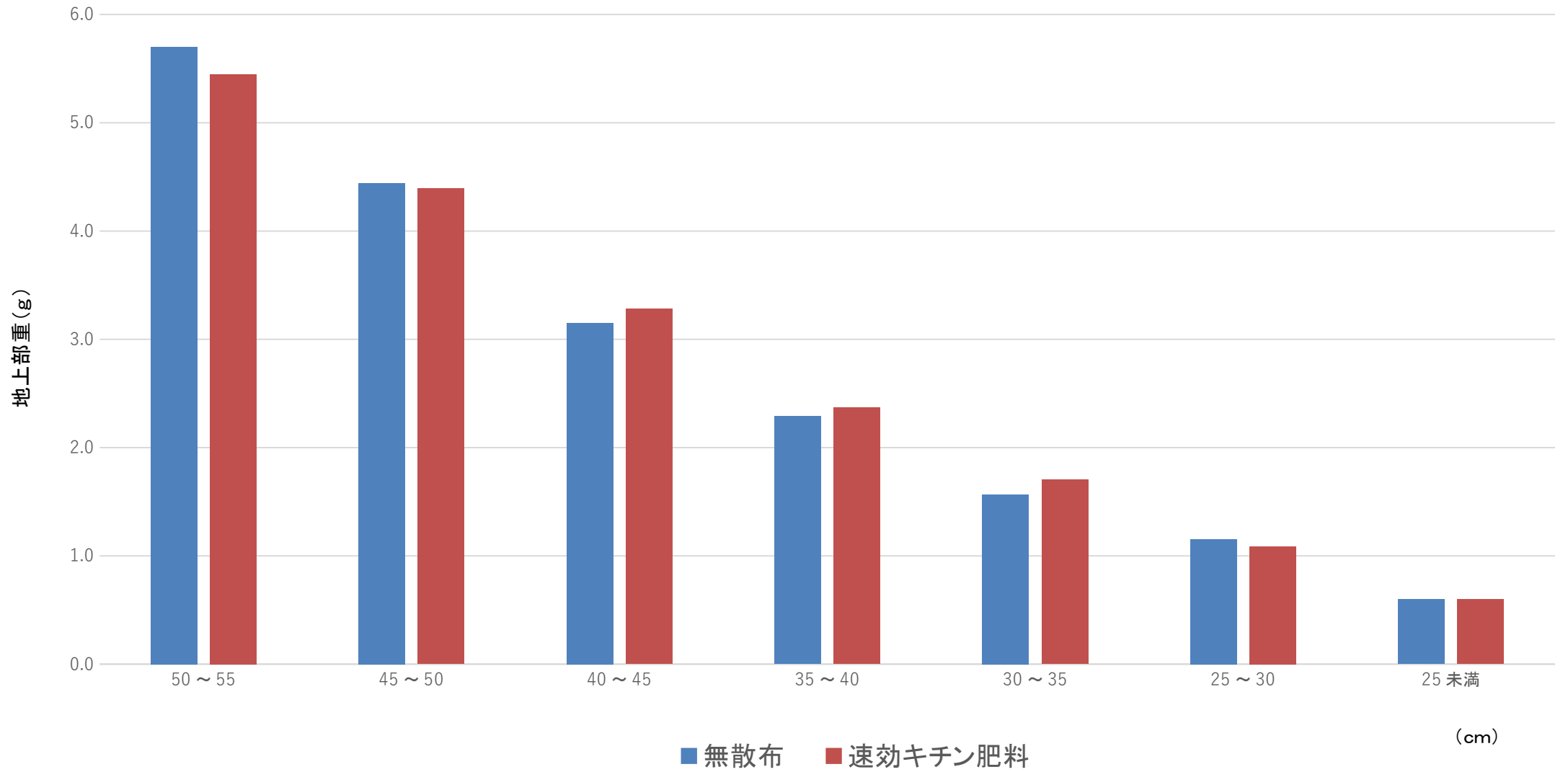
速効キチン肥料散布区

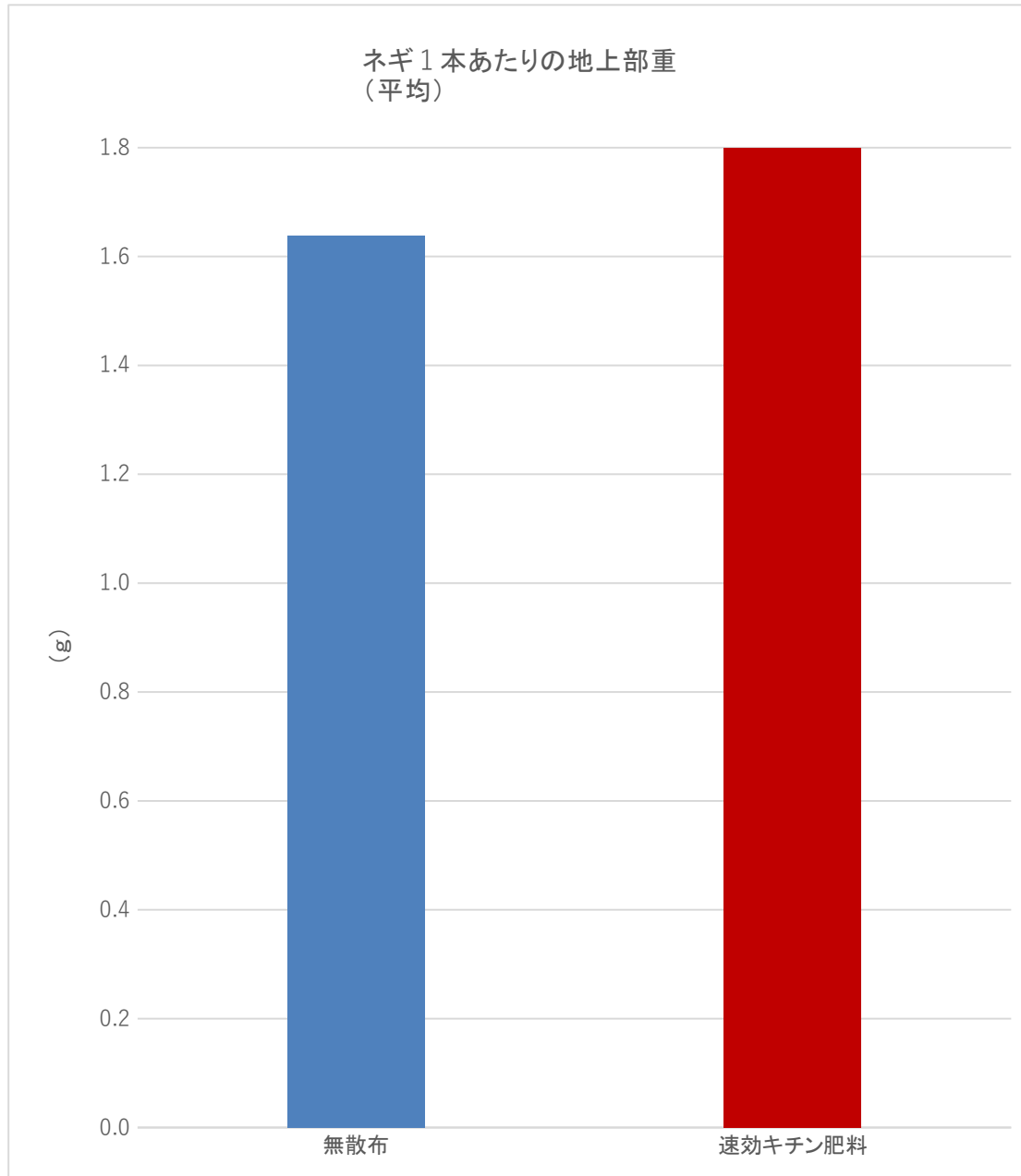


ネギの長さ比較



ネギ1本あたりの地上部重

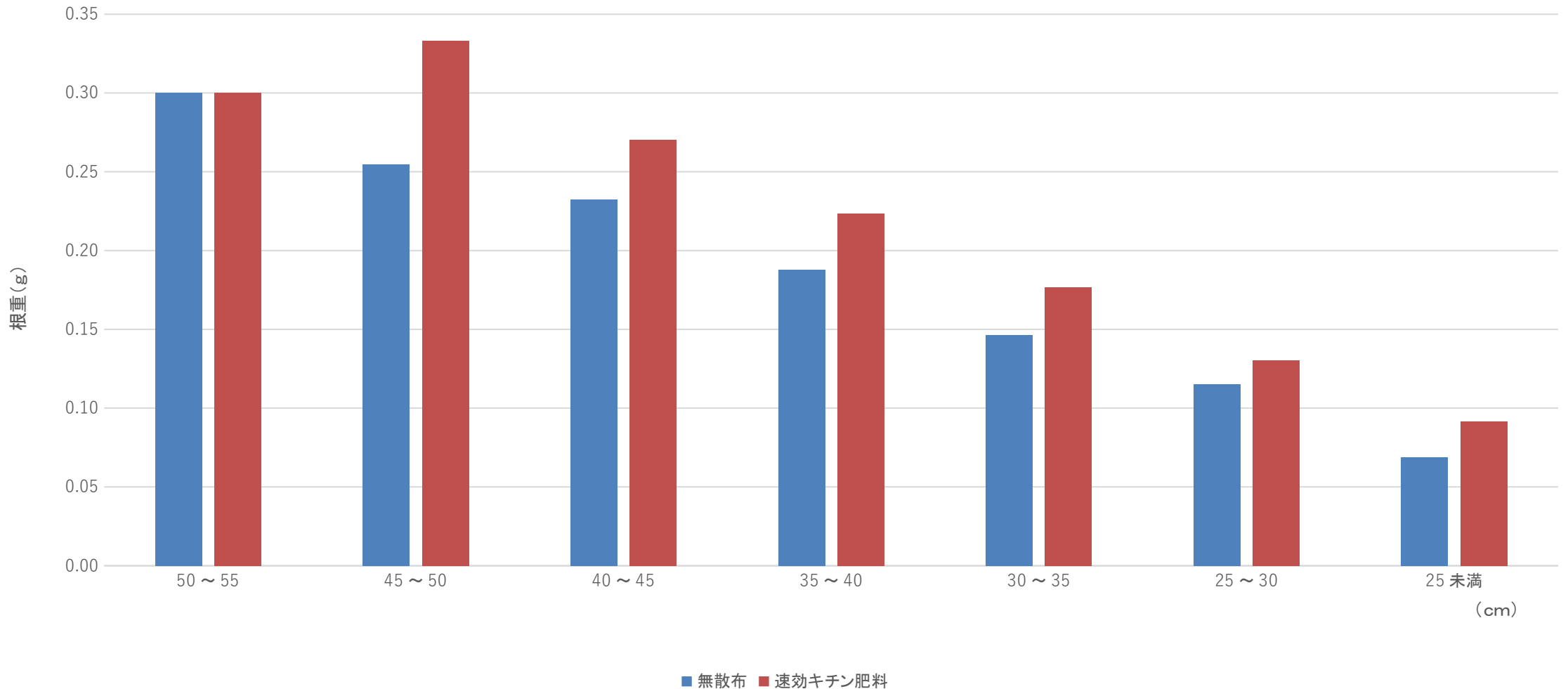




・ネギの長さは、無散布に比べ散布区の方が、全体的に長い傾向が見られた。成育が遅いネギの成育が追い付いてきたのではないか？

・同じ長さのネギを比較すると、1本あたりの地上部重は無散布、散布区共に大きな差は見られない。散布区の方が全体的に長いものが多いため、ネギ1本あたりの地上部重は大きくなった。
収量は速効キチン肥料散布による効果が見られた。

ネギ1本あたりの根重



・ネギ1本あたりの根重は、50~55cmの長さ以外はすべて散布区の方が大きくなった。